

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事

工事工程表(概算工程表)

- ・この概略工事工程表は、入札参加者の適正かつ迅速に資するための資料であり、契約書第1条に示す設計図書ではない。
- ・概略工事工程表は、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、当該工事の競争参加者は施工条件等を十分配慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
- ・この概略工事工程表の内容に関する質問は受け付けない。

令和6年10月

東日本高速道路(株)
東北支社 仙台東管理事務所

工事工程表(概略工程表)
工事名) 仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事

工種	単位	数量	令和7年度												令和8年度												令和9年度												令和10年度												備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月													
余裕期間																																															120日間				
河川区域内 施工可能時期																																															11月～4月末 現地調査及び助的解析を用いた上部工の調査				
準備工・詳細設計	式	1																																																	
上部工鉛直部材補強工 製作	t	15.6																																																	
上部工鉛直部材補強工 施工	t	15.6																																																	
P1橋脚 工事前仮橋脚工・鋼矢板締切り																																																			
P1橋脚 コンクリート巻立て工																																																			
P2橋脚 中空橋脚充填工																																																			
P3橋脚 中空橋脚充填工																																																			
P4橋脚 コンクリート巻立て工																																																			
P5橋脚 コンクリート巻立て工																																																			
支承工 製作	基	4																																																	
支承工 施工	基	4																																																	
落橋防止構造工 製作	本	40																																																	
落橋防止構造工 施工	本	40																																																	
横変位拘束構造工 製作	基	10																																																	
横変位拘束構造工 施工	基	10																																																	
制震ダンパー工 製作	基	6																																																	
制震ダンパー工 施工	基	6																																																	
はつり工・修復工	m ²	7																																																	
後片付け	式	1																																													60日間				

この概略工事工程表は、入札参加者の適正かつ迅速に資するための資料であり、契約書第1条に示す設計図書ではない。

したがって概略工事工程表は、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、当該工事の競争参加者は施工条件等を十分配慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

また、この概略工事工程表の内容に関する質問は受け付けない。